

— 地域のトータルプロデューサーを目指して —
株式会社 双葉建設コンサルタント

所在地：〒996-0002 山形県新庄市金沢字谷地田1399-11
 TEL：0233-22-0891
 FAX：0233-22-0200
 URL：http://www.futaba-c.co.jp/
 従業員：52名
 設立：1967年
 代表者：代表取締役社長 海藤 剛



会社全景



中越地震



東日本大震災の災害調査



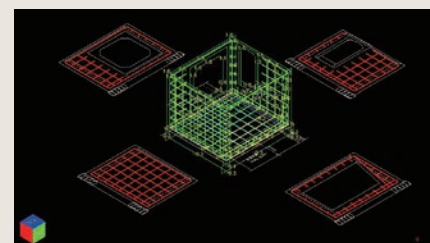
道路清掃



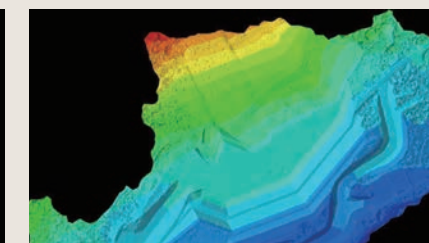
国道除草ボランティア



インターンシップでのUAV体験



3D設計による鉄筋確認作業



i-Constructionの編段彩色



建築物の3Dによる確認作業



2019年集合写真

沿革と企業概要

当社は、山形県の北部にある豪雪地帯の新庄市を拠点として1967年に先代の社長と奥様の二人で「双葉測量設計事務所」として産声を上げました。1972年「有限会社双葉測量設計事務所」、1984年に「株式会社双葉建設コンサルタント」と名称を改め、地域振興と活性化のため、建設コンサルタント業、測量業、地質調査業、補償コンサルタント業、一級建築士事務所等の業務に従事し2021年で54年目に至っております。

当社の営業範囲は、山形県を中心に東北地方全域で国交省をはじめ民間企業等の技術的なサポート役としてお手伝いをさせていただいております。

社風

当社は創業から10年ほど会社と社長の自宅が一緒だったこともあり、アットホームな環境で発展してきました。事実、3組ほどの親子社員が存在し若手社員獲得にも貢献いただいて非常にありがたいことだと感じています。社是は【「技術と誠意」で地域を発展させる】で

ります。発注者の意図を正確に汲み上げ、練り上げた技術で地域の発展に貢献していくということであります。そのため、RCCMや技術士の他、補償業務管理士等の資格取得に関して必要な時間や経費を負担し、社員それぞれのキャリアパスに必要な資格に挑戦しやすい環境を整えています。

また、地域活動への支援も認めており、地域の祭りの設営やPTA活動、部活動のコーチなどを行っている社員も複数いることから、全社一定の夏休みを設置せずに柔軟な対応をとれるようにしています。その甲斐もあってか、当社の離職率はかなり低く、5年定着率は95%以上となっており、40年以上勤めている社員も多数存在しており、退職者はOB会を結成して定期的に集まっています。

災害対応力

2011年の東日本大震災時には、自衛隊が捜索している中を北上川下流の災害対応にあたり、2019年、宮城・福島^{えあいがわ}の豪雨の際にも災害派遣要請があり、江合川・鳴

瀬川等の被災状況調査にあたるなど、東北地方の災害の際には要請に対して体制を整えています。2020年の7月29日の豪雨による最上川中流の氾濫時にも流量観測や水位観測、発災後には痕跡調査やUAVによる画像の撮影、被災個所の測量などを国交省新庄河川事務所より依頼され対応を行っています。

当社はこれまで数々の災害を経験し、その度に感じているのは「機動力と技術力」の継続的な保持の必要性です。年々その脅威を増す自然災害に向け、会社として準備を怠らず、人材確保や技術力の研鑽に努めています。

社会貢献活動

当社は地域貢献活動として、国交省山形河川国道事務所のボランティアサポートプログラム（VSP）や山形県のボランティア「ふれあいの道路愛護事業」（マイロードサポート事業）として、インフラを利用するだけでなく維持管理していくという観点のもと、道路の緩衝地帯の雑草除去や植木の剪定、ごみ拾いなどを定期的に

行っています。

また、地域の高校生や中学生を対象にインターンシップや職業体験を行い、インフラの重要性について説明しています。

今後の展開

当社は土木測量設計を得意としており、道路構造物や河川構造物そして橋梁点検、補修設計業務などの維持管理分野等においても実績を多数持っています。近年はi-Constructionにも参入し、UAVやTLS等の三次元データの取得やBIM/CIM等にも対応できるよう準備をしております。

私たちは、地域の住民の「安全安心な暮らし」や「快適な社会」を実現するために、これからもインフラの整備や長寿命化・高度化が必要だと考えています。今後は2年後に完成する新社屋とともに、さらなる進化をし「測量設計業」から「ICTを活用した情報産業」へ、社員とともに笑顔で作り上げていきたいと考えております。

(文：代表取締役社長 海藤 剛)